

科目名	組織倫理論特講	担当者	サカイ 坂井 スオミ	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	---------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	本科目はグローバルな視点で組織倫理と人権促進、持続可能なビジネスおよび開発との関連性また組織倫理向上のための各ステークホルダーの役割を理解することを目的とする。		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 組織倫理が人権促進、持続可能なビジネスまた開発にもたらす影響を分析する能力を身につけ、組織倫理向上のためのオプションを議論できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 倫理的意思決定、戦略決定の方法論を理解し、それを使って実際のケースを分析する。グローバル化が組織倫理の実施にもたらすチャレンジを理解する。日本政府だけでなく日本企業及び市民が人権の保護促進、持続可能な開発等の SDG の国内外での達成にどのように貢献できるかを組織倫理の視点から分析し、行動案のオプションを探る。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 レポート作成のための準備学修は教材を読み、Web リサーチをすることが主である。教材を読むのにそれぞれ 40、Web リサーチは課題につき計 5 時間を目安とする。レポート作成及びマナバコメントに基づく修正にそれぞれ 20 時間を目安にする。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 本科目は e-learning を主な学習方法である。Web リサーチ及び manaba を通じた教員とのコミュニケーションを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 レポートを通じた学修は、課題に沿って作成し、manaba を通じて教員のコメントなどを参考にして修正を重ねて、最終版としてまとめてから manaba に改めて最終版として提出するプロセスを経る。 新しい情報を常に入手することが重要となるので関連する website や新聞記事などの分析は欠かせない。そのため日常からの情報収集にも配慮する。 具体的には教材や参考図書をもとにそれらから吸収したうえで関連した新情報も分析し、レポートの課題に対する自分の考えをまとめる。</p>		
スケジュール	<p>提出期日は manaba-folio ならびに学事歴記載のとおり。教員のコメントに基づいた学修であるため以下のようなスケジュールが目安として考えられる。</p> <p>前期: レポート課題 1 の草稿は 7 月末、課題 2 は 8 月末を目安に提出する。取り上げる課材については草稿をまとめる前にマナバもしくはメールで相談することが望ましい。</p> <p>後期: レポート課題 1 の草稿は 11 月中旬、課題 2 は 12 月中旬を目安に提出する。取り上げる課材については草稿をまとめる前にマナバもしくはメールで相談することが望ましい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	<p>課題に沿った論理構築がされているか。 3000～4000 字という短い字数で自分の意見をまとめているか。 十分に教材を読み込んでいるか。 参考文献、Web リサーチなどの情報検索が十分であるか。 脚注などレポート作成に必要な情報が正確に含まれているか。</p>
	平常評価	20%	Manaba を通じて行われるコメントに関する修正度合。
履修者への要望	理論的であることと自分の意見をまとめることを主眼としているので、どんな小さな点でも構わないので自分の考えや気づきを大切にレポートを書いていただきたい。		

